実測の方法

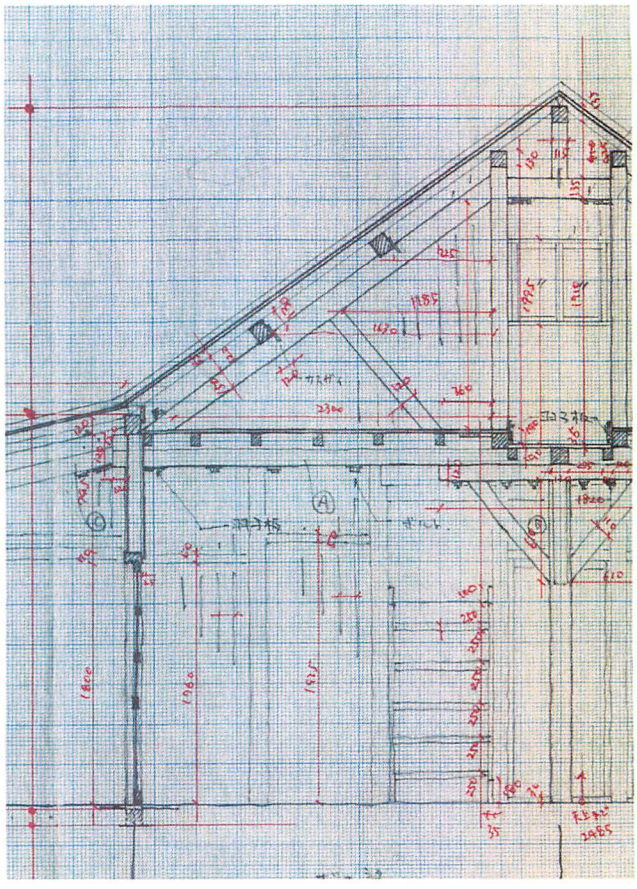
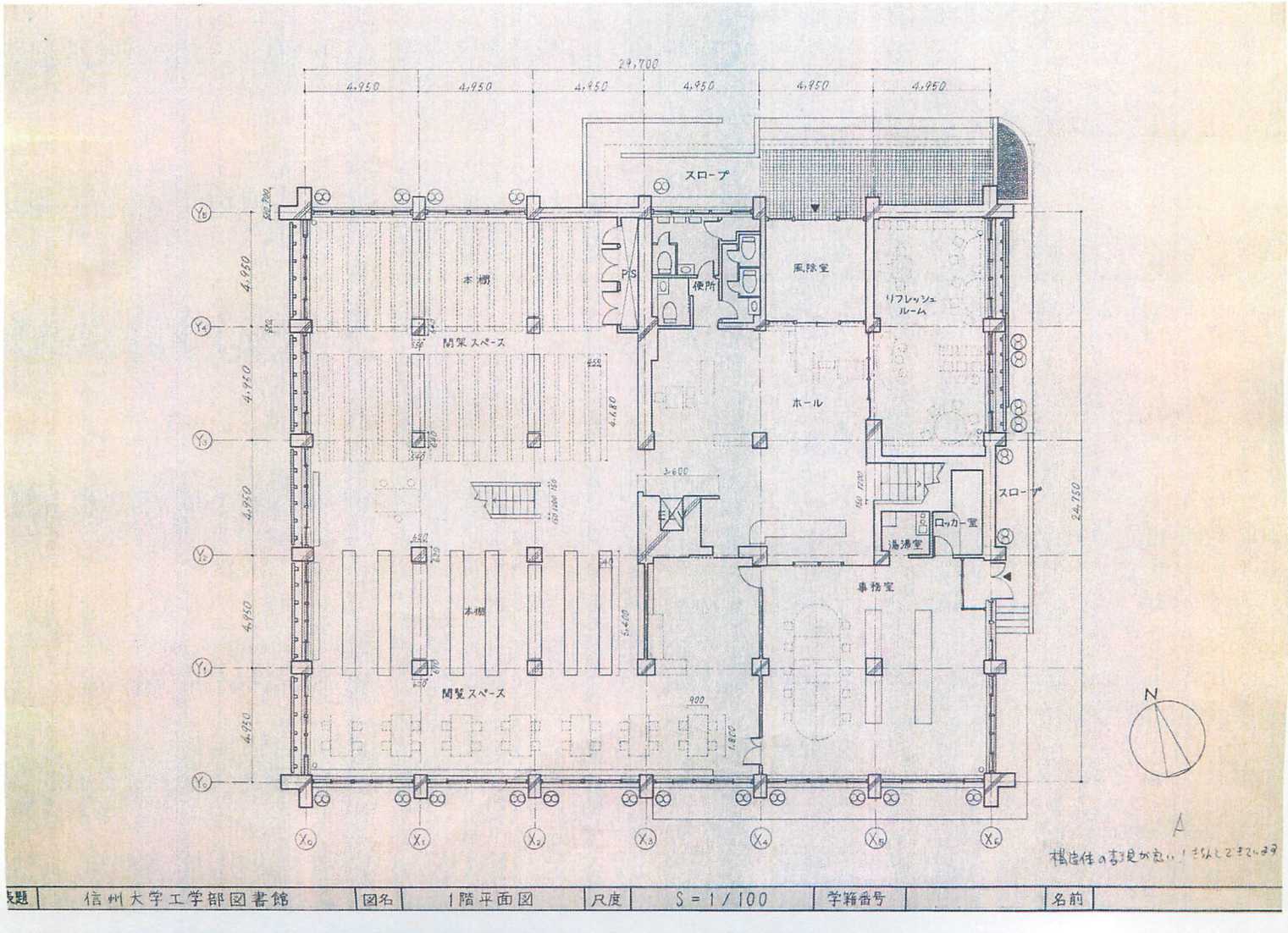
- 野帳（記録用紙）をおり、画板にセットする。

《鉛筆・シャーペン（消せるもの）で記入する》

- 大まかに柱筋の寸法を把握する。（通り芯の確認）
- 通り芯をかく。
- 断面をかく。

  柱　＞　壁　＞　開口・建具　の順
- 見えがかり部分をかく。

《色ペンで記入する》

- 寸法線をかく（部分と全体）。
- mm 単位で寸法を測り、記入する（部分と全体）。
- 寸法にもれやくい違いがないか確認する。

最後に、記録年月日、記録者、記録対象、
図面名を記入する。